

給食会たより

令和6年度 第11号

(公財)熊本市学校給食会

R7.1.23 文責;古賀

圃場視察 (いちご)

令和7年1月17日(金) 河内町白浜地区



「いちご」はビニールハウスの中で、温度管理をしながら栽培されています。作業がしやすいように腰あたりの高さに実がなるようにしてありました(「高設栽培」といい、導入率54%)。



JA 職員(土田様)

いちご生産者(磯野様)
*白浜「莓」部会長

圃場視察参加者

青果組合: 肝付専務理事, 諏訪参事

学校関係: 西 先生(高平台小) 竹谷先生(井芹共調)

齋藤先生(尾ノ上小) 西川先生(武蔵共調)

市給食会: 古賀, 宮西



この苗は「親株」と言って、次回使用する1番株です。
この1番株を、2番~3番へと次々に増やしていき、最終的にたくさんの株を育てていきます。(1000株以上)
*この1番株は、連なりながら増えていきます。
植付け時には、連なりを切除して、1つの株として植付けます。



「受粉」はミツバチを使って行っています。
「いちご」の種類は「ゆうべに」と「恋みのり」です。
1番果から5番果まで収穫します



先生方も1粒収穫させていただき、試食されました。



果実の品質向上のため、シーズンを通して、玉(果実)だし作業を徹底し、果実が「光」をしっかりと浴びるようにしています。
重ねて「古葉・古茎」の除去作業を行い、土台の根を強くしています。



本日は「いちご」に関して、たくさんの方を教えていただき、有難うございました。学んだことを学校に持ち帰り、児童・生徒にも伝えていきたいと思っています。